

スーパー銭湯の地下水くみ上げに対して板橋区議会に陳情書を提出しました

2005年9月

前野町のスーパーイズミヤ向かいの工場跡地にスーパー銭湯の建設が着々と進んでいます。このスーパー銭湯は1日に50トンの温泉と288トンの地下水を汲み上げて営業すると聞きました。条例では1日10トンが上限ですが、工場で使っていた井戸の既得権だというのが事業主の言い分だとか。昭和40年代に地下水の汲み上げにより1.2mものひどい地盤沈下に見舞われた板橋区。地下水の過剰汲み上げにより再び地盤沈下したり、見次公園の湧水が枯れたりという心配もありうる重要な環境問題です。私達にはなじみのうすいテーマですが、「タダの地下水を使えばコストが安くなる」という発想が通用する時代ではない、環境に配慮した営業をしてもらいたいと、急遽エコポリスセンター周辺の環境保護団体が集まって陳情書を出すことになりました。陳情内容は、**スーパー銭湯事業者に対して地下水の汲み上げを1日30トン程度に制限するよう強く指導してください 崖線の保全、雨水浸透等による地下水の積極的涵養、地下水の汲み上げ制限等を盛り込んだ「板橋区湧水・地下水保全条例」を制定してください**、というものです。いたばし水と緑の会、ぽんぷ、一步の会、志村城山みどりの会有志等の協力により、9月12日、97名の署名と共に区議会事務局に陳情書を提出しました。陳情の審議は9月30日になるらしい。署名は審議の前日まで追加提出が可能です。関心のある方は田中正安さん迄(3956-7997)。